

トピック — きゅうりの価格動向 —

きゅうりの価格は、4月下旬から5月下旬にかけて平年を下回って推移し、直近10年で見ると、5月中旬は一番安く、5月下旬は2番目に安い水準となった。

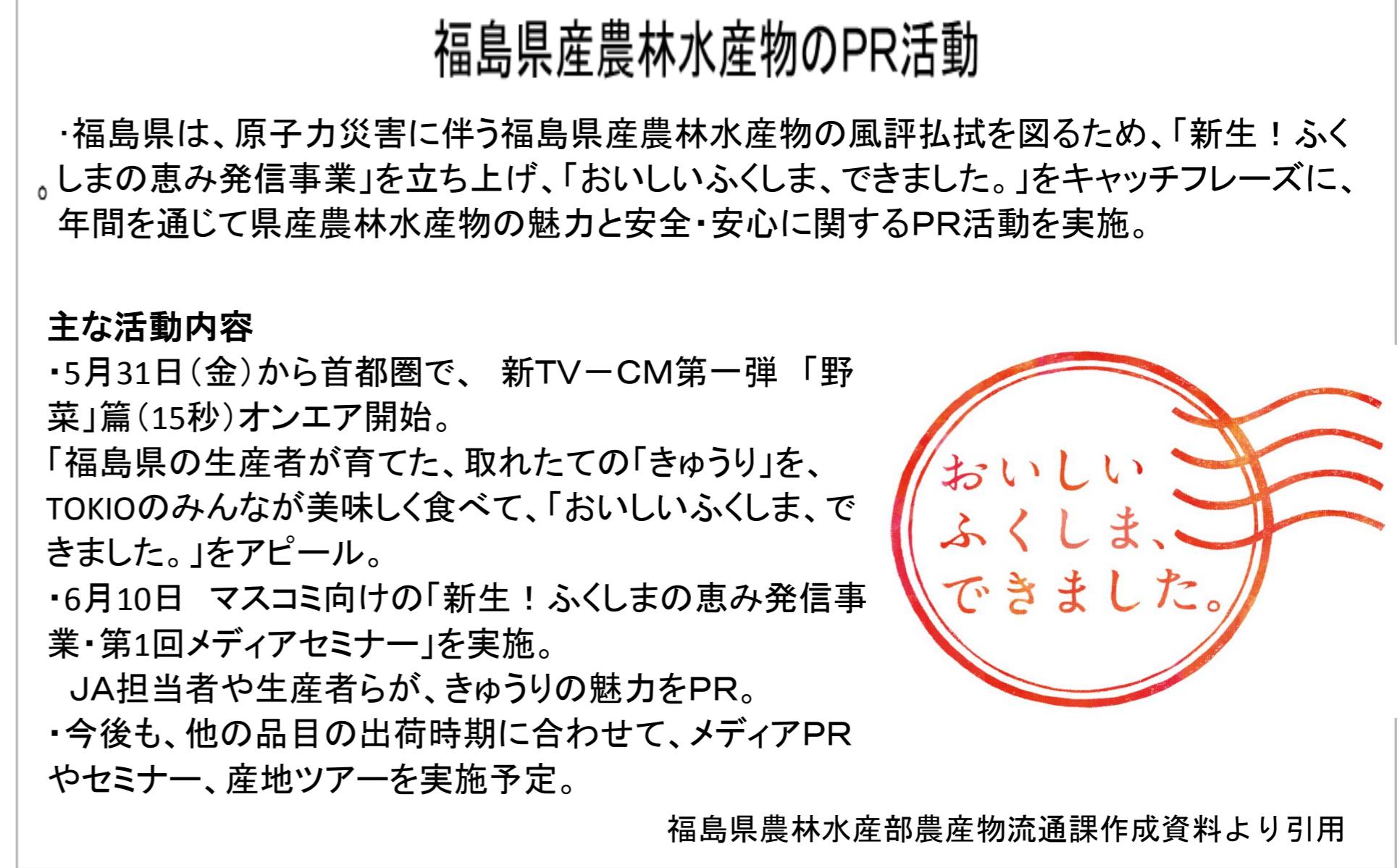
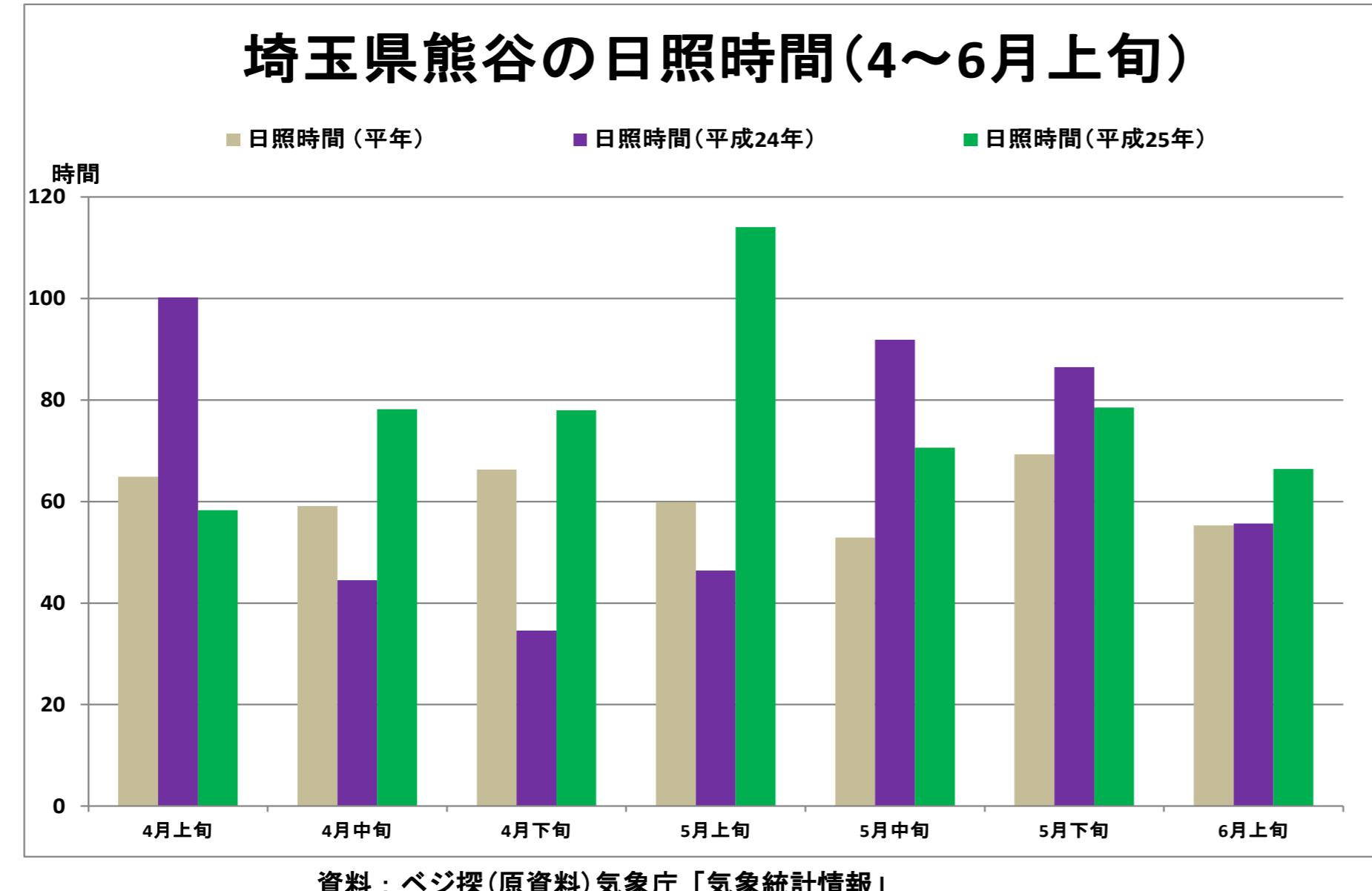
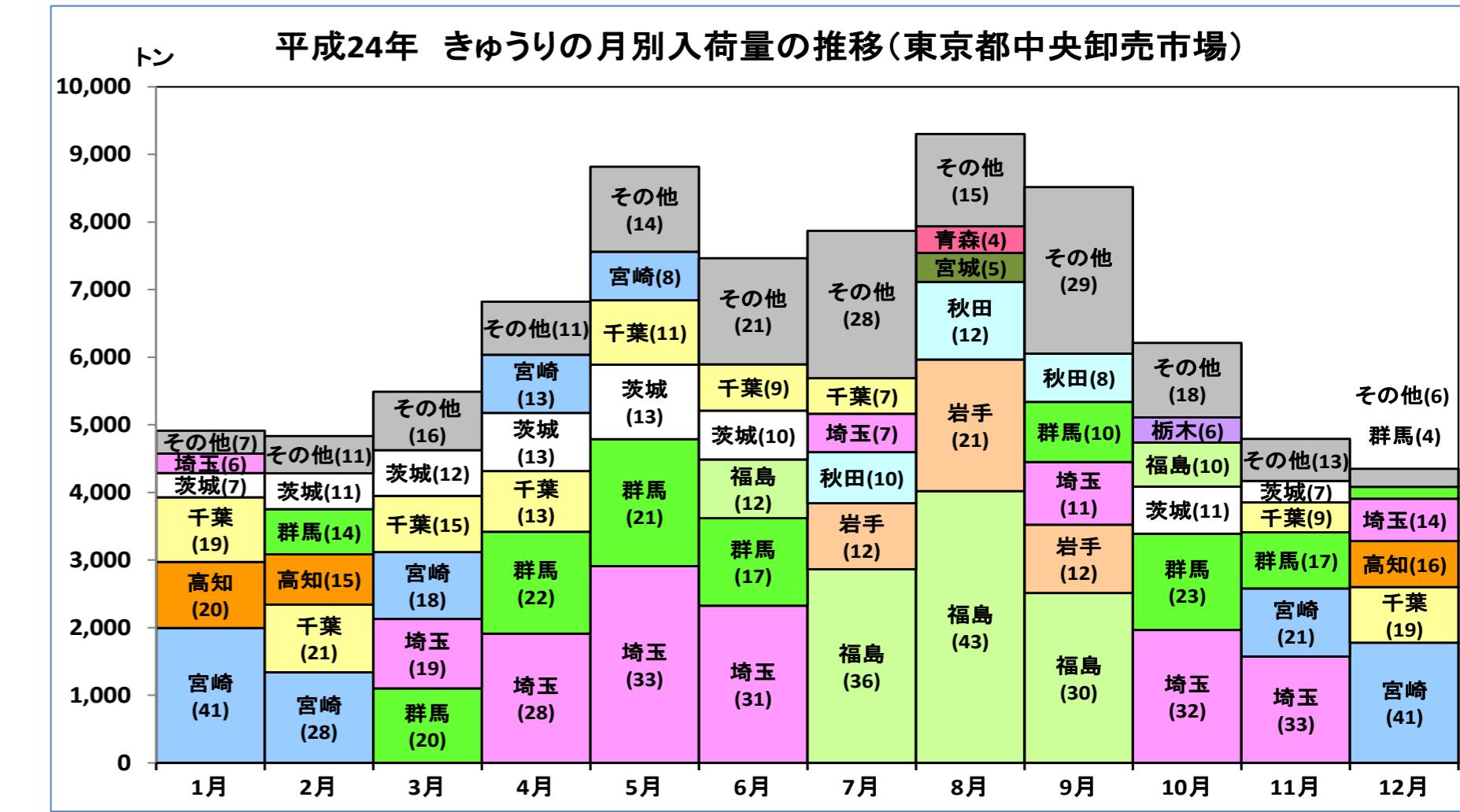
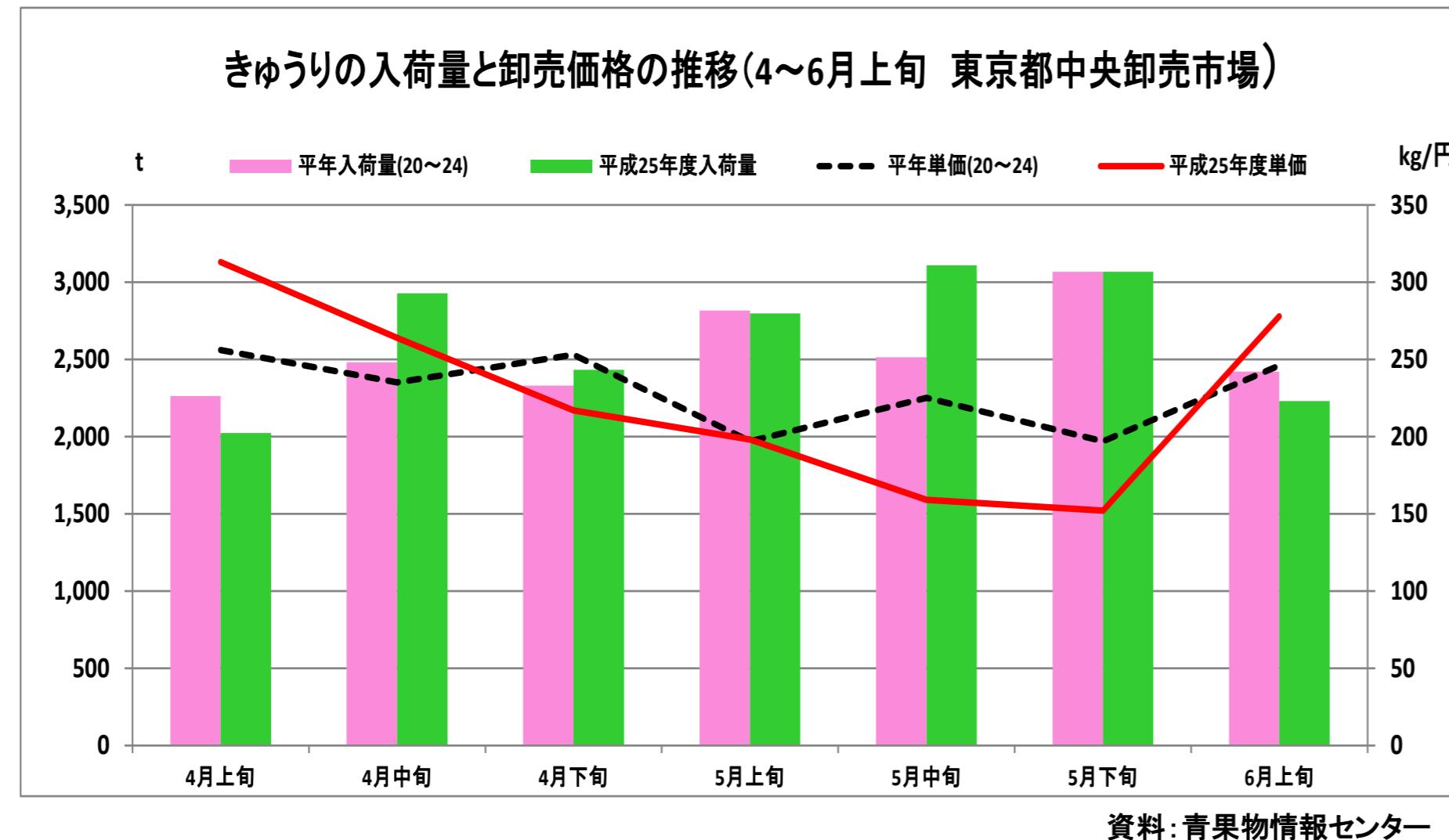
これは、4月から5月にかけて主産地の埼玉や群馬が日照時間に恵まれ、特に5月は日照時間の高い方の記録を更新したような状況であったことから、きゅうりの花つきが良く、入荷量が増加したことによるものと思われる。

しかしながら、6月に入って価格は一気に上昇し、現在に至っている。

これは、6月上旬も日照時間が平年を上回っていたものの、5月までの生育が良好で花つきが良く、若干着果数が多くなったことから、樹が成り疲れを起こし、出荷量の減少を招いたことによるものと思われる。

今後は、産地の切り替わり時期で、埼玉産や群馬産は終盤になり出荷量がやや少なめで推移することから、価格が高い状態が続くものの、7月からは、福島産等の東北産の出荷が本格化する中、今のところ生育が順調なことから、価格も落ち着いてくるものと思われる。

なお、夏場のきゅうりの供給量の3~4割を占める福島では、東京電力の原子力発電所の事故に伴う風評払拭を図るために、福島県農林水産物の魅力と安全・安心に関するPR活動を行っており、その成果が上がることが期待される。



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 農業需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。